

地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊。市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特色を活かした産業の創出を図ります。

地域おこし協力隊の活動内容紹介
～観光イベントや街づくりを推進～

隊員 大橋 明日香

飛騨市の皆様、こんにちは！

はじめまして！十一月二十五日より地域おこし協力隊として活動させていただきます。大橋明日香です。茨城県つくば市より移住してまいりました



私の飛騨市でのミッションは

「とにかく飛騨市を楽しむこと！…….という、こいつは遊びに来たのか？と思われてしまうかもしれないが、飛騨の魅力を掘り起こして、観光イベントや街づくりの推進事業に活かすお手伝いをさせていただくためにやっ

てまいりました！

そのために、お住まいの皆様には当たり前かもしれない飛騨の魅力をたくさん探して、味わって、誰よりも飛騨を楽しみたいと思っております！

そんなわけで、まずは飛騨市を知ることから！と、いろいろな場所や行事に参加させていただいております。

この記事を書いているのは移住して一週間ほどですが、既に

・スーパーカミオカンデの一般公開（世界的施設に興奮！エゴマの五平餅の出店があり美味でした！）

・飛騨市図書館のおとなの時間（コーヒーを飲みながらジャズの生演奏を聴き、画集をめくる贅沢時間！）

・鯉のお越し見学（丸々大きく育った鯉を捕まえる作業は大迫力！天神池の鯉の滑り台もすごかった！）

・山中和紙の紙漉き体験の取材（神岡小学校の皆さんが協力し合いながら真剣に楽しんでいる様子に感動！柏木さんもエネルギーで素敵！）

・成手トンネル開通式（立派なトンネルを開通前に歩かせていただきました！宮川保育園の四人も可愛い！）

・古川大好き発表会（最近の小学生はC

Mまで作れるのかと驚き！地元を知り愛する気持ちを高める取り組みが素晴らしい！）

・ユネスコの正式登録記念式典（提灯行列と神輿の練り歩きは、参加されている皆さんが本当に喜んで楽しんでいて感動！）

……と、感動しっぱなしの大橋です。お住まいの方も知らなかったイベントもあるのではないのでしょうか？既に飛騨市を楽しみまくっております！

まだまだ行けない場所、これからのイベント、各季節ならではの魅力がたくさんあると思います。明日はどんなものに出会えるのかなあと毎日ワクワクしながら過ごしています。

そしてもちろん、この幸せで貴重な経験をさせていただいている感謝を、飛騨市の皆様にお返しするべく、お仕事もきっちり楽しみながら励みたいと思います！

読み返してみると、楽しい！感動！素晴らしい！……と、魅力を伝える仕事なのに語彙力の足りていない私ですが……（苦笑）、精一杯頑張りますので、飛騨の良さ、たくさん教えてくださいね☆





我が国は世界に類をみないスピードで高齢化が進んでおり、飛騨市では全国平均より一層高齢化が進んでいます。飛騨市民病院を受診される患者さんの多くは高齢の方であり、独居や高齢世帯の方が大変多く、病気の後の生活に不安や問題を抱えておられます。

退院に向けては、病院スタッフ以外の介護、福祉などの多種スタッフとの連携をしっかりと整える話し合い「退院調整のカンファレンス」を行い、安心して退院して頂くようにしています。さらに、この度、入院患者さんが安心して在宅へ退院できるように、在宅復帰を目指したリハビリやケアを強化した特別な病床（地域包括ケア病床）を新たに平成29年1月より開始し



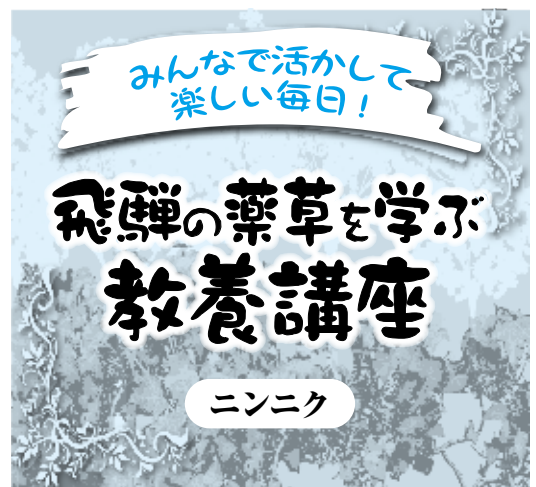
ました。やむを得ず施設への入所希望される人も少なくないのですが、現状では施設への入所も簡単ではないのが実情です。施設の数不足もそうですが、高齢者を支える世代が極端に少なくなったため介護職員の人手不足が深刻なのです。

これからの時代は病院や行政にばかり頼ってはいけません。まずは自分自身の健康管理を十分行い病気を防ぐこと、そして60歳代のお元気な方々が高齢者を支える役目を担って、是非とも社会参加するようにして頂くことが重要になります。そうすることで自分自身の意欲や活動性を向上させて認知症発生の予防にもつながり、健康寿命を延ばすことにもなります。このように皆さんが他人事でなく自分事としての意識を持って頂くことで、住み慣れたまちで最期まで、まめに過ごすことができるでしょう。

これからますます気温が低くなると、手足の指先、そこから全体に冷えてきますね。体を温めることができ、寒い時期を元気で乗り切る方法としてニンニクをご紹介します。

食卓で普通に、様々な料理に入るニンニク。これも立派な薬草です。強壮効果があるのは有名ですよ。一方で「ニンニクを生で食べたら大変だった」という声も聞きます。それはネギ・タマネギ・ニラ・ノビル・ニンニク・ギョウジャニンニクの順に強壮効果が高まることによりですが、体力もそれに合わせないとかえって胃腸を痛めるなど弊害が出てしまうことに関係しています。

それでも今回ニンニクをお勧めするのは、その保温や血流促進、抗菌の効果です。抗菌の効果は力ツオのたたきに添えることなどからわかりますね。それ以外にも認知症防止、脳の働きの活性化、抗腫瘍、コレステロールの低下などが期待できるからなのです。



でもどつやつて体にとりいれるといいのでしょうか。元氣なときに食べる目安は生なら1日1片、加熱等加工調理したものなら2、3片程度にしましょう。熱を加えるとあの独特の臭いもかなり和らぎます。

仕事柄、臭いが気になるので食べるのは遠慮すると言う方は、お風呂で使いましょ。ニンニク1片をコップ5、10杯程度の水でよく炊いて、その煮汁ごと湯船に入れてみて下さい。入浴後はよく温まるし、お肌はツヤツヤ、臭くありません。しかも食べる訳ではないので臭いも体力も関係ありません。これならできますね。

今回ご紹介したニンニクもこれからの季節にとっても心強い味方です。色々な料理に使ったり、お風呂に入れたりして、冷え知らず、風邪知らず、ツヤツヤお肌で健康になりましょ。



（村上光太郎「薬草を食べる」より）

ふるさと応援寄付者

次の方々から温かいご寄付をいただきました。

〔ふるさと応援寄付金〕(11月1日～11月30日)

小林 たつや	三好 明美	河原 恵子	尾形 正史	笠井 孝志	秋野 佳子	北澤 敏也	西村 正人	名取 宏祐	大石 忠男	謝 孝佳	水永 丈嗣	鈴木 秀昭	韓 秀暎	畑尾 英一	伊藤 陽子	川出 和彦	上林 三子雄	野間 裕里江	伊藤 昭弘	松浦 基之	守屋 昭彦	蛭田 忠良	山津 昌之	出口 敏朗	貝洲 岳洋	小倉 雅行	竹下 和弘	岩田 幸久	朝田 憲祐	嶋津 正巳
様 (千葉県)	様 (愛媛県)	様 (千葉県)	様 (東京都)	様 (愛知県)	様 (大阪府)	様 (東京都)	様 (神奈川県)	様 (神奈川県)	様 (静岡県)	様 (長野県)	様 (神奈川県)	様 (岩手県)	様 (神奈川県)	様 (茨城県)	様 (埼玉県)	様 (愛知県)	様 (広島県)	様 (東京都)	様 (愛知県)	様 (大阪府)	様 (埼玉県)	様 (茨城県)	様 (大阪府)	様 (大阪府)	様 (東京都)	様 (千葉県)	様 (東京都)	様 (愛知県)	様 (愛知県)	様 (岐阜県)
五万円	三万円	一万円	二万円	一万円	二万円	五万円	一万円	二万円	二万円	一万円	二万円	二万円	十万円	一万円	二万円	五万円	五万円	一万円	二万円	三万円	二万円	五万円	十万円	十万円	二万円	三万円	一万円	一万円	三万円	十万円

後藤 純治	斎藤 鉄男	古中 幸子	井澤 伸太	田中 敏雄	中川 盛二	夏目 泰忠	角 眞一郎	関根 義寛	山田 直彦	井上 清嗣	加藤 由美子	高橋 諭	森原 寛之	和田 直樹	近藤 輝光	吉川 恒太郎	平松 知美	吉川 拓未	田中 亜紀子	大江 孝宏	古川 眞也	上杉 秋則	船坂 好平	堀口 和行	小川 昌邦	西尾 裕	田尻 雄哉	乾 恵美子	村井 里江	大垣 智史	佐藤 秀隆	小柳 津純	千嶋 一史	後藤 由美
様 (愛媛県)	様 (栃木県)	様 (大阪府)	様 (大阪府)	様 (大阪府)	様 (富山県)	様 (東京都)	様 (熊本県)	様 (埼玉県)	様 (神奈川県)	様 (青森県)	様 (京都府)	様 (東京都)	様 (大阪府)	様 (愛知県)	様 (愛知県)	様 (神奈川県)	様 (愛知県)	様 (東京都)	様 (福岡県)	様 (神奈川県)	様 (東京都)	様 (東京都)	様 (愛知県)	様 (愛知県)	様 (愛知県)	様 (岐阜県)	様 (愛知県)	様 (岐阜県)	様 (静岡県)	様 (千葉県)	様 (愛知県)	様 (東京都)	様 (東京都)	様 (愛知県)
一万円	十万円	二万円	一万円	二万円	二万円	二万円	三万円	三万円	二万円	二万円	一万円	二万円	三万円	一万円	二万円	十万円	二万円	一万円	二万円	二万円	一万円	四万円	五万円	三万円	五万円	一万円	二万円	二万円	一万円	三万円	一万円	一万円	二万円	十万円

福本 幹雄	中嶋 宏	松本 翔	岩佐八十彦	吉井 勇	船本 邦夫	深澤 和弥	和田 潔	川端 洋一	平田 篤史	武田 敏	内藤 智雄	根崎 遼太	鈴木 清詞	中川 真輔	齋藤 幸二	清水 勲	鳥越 雅和	冠者 實	青木 匠也	上松 淳一	原 安礼	谷口 翼	小泉 龍弘	村木 清孝	大野 浩一	蒔田 雅彦	高御堂美樹	都築 貴夫	金子 英介	宮津 大輔	河原 高	中川 聡	仁科 定	
様 (千葉県)	様 (大阪府)	様 (大阪府)	様 (愛知県)	様 (東京都)	様 (奈良県)	様 (東京都)	様 (大阪府)	様 (福岡県)	様 (岐阜県)	様 (神奈川県)	様 (岐阜県)	様 (愛知県)	様 (愛知県)	様 (滋賀県)	様 (埼玉県)	様 (神奈川県)	様 (兵庫県)	様 (神奈川県)	様 (千葉県)	様 (東京都)	様 (栃木県)	様 (愛知県)	様 (愛知県)	様 (東京都)	様 (神奈川県)	様 (北海道)	様 (愛知県)	様 (愛知県)	様 (東京都)	様 (静岡県)	様 (千葉県)	様 (東京都)	様 (福岡県)	様 (東京都)
十万円	四万円	三万円	三万円	二万円	三万円	三万円	一万円	三万円	十五万円	二万円	二万円	二万円	二万円	二万円	二万円	一万円	三万円	三万円	一万円	二万円	二万円	二万円	二万円	五万円	二万円	三万円	一万円	一万円	十万円	三万円	一万円	十万円	三万円	



岐阜県立飛騨神岡高等学校

地域との連携企画の紹介



12月9日(金) 吉城高校の生徒会役員を本校に招き、生徒会同士の交流会を開きました。交流会に参加したのは吉城高校の生徒会役員7名と本校の生徒会6名。文化祭や生徒会役員選挙など、生徒会行事の運営方法などについて情報や意見を交換したり、飛騨市の高校として両校が協力して地域に貢献したりアピールできることは無いかなどを議論しました。話し合いの中で今後協力してできそうなことも見つかり有意義な時間を過ごすことができました。



12月11日(日) 総合会館で開かれた飛騨市の建築・まちなみを残す会主催の『もくチャレ!』に本校と吉城高校の生徒が参加し両校それぞれが木製ベンチの制作にチャレンジさせていただきました。参加させていただいた本校の生徒は、地元企業の内定者や、建設・木工系の大学や各種学校に進学が決まっている3年生の5名。会場へ駆けつけてくださった都竹市長さんの質問に「難しいけど本当に楽しいです!」と笑顔で答え、昼食の時間も忘れて真剣に取り組んでいました。指導をしてくださったのは現代の飛騨の匠、荒木昌平さんと原大作さん。事前の入念な下準備と丁寧な指導で、飛騨の家具らしく金具を全く使わない骨太で温かみのある素晴らしいベンチが完成しました。完成したベンチは後日、飛騨市内の老人介護施設へ寄贈しました。



同日、神岡図書館で市内の読書会の皆さんと本校文芸部の生徒が「課題図書」をもとに交流。俳句などを通し本校の文芸活動を知ってもらうとともに、地元の方々と交流を深めました。

「春や春(森谷明子著)」と「17音の青春(神奈川大学)」を課題図書とし、事前に読んだうえでの交流でした。「春や春」は俳句甲子園に臨む高校生を描いた物語で、本校の生徒たちの姿とオーバーラップする作品です。一方、「17音の青春」は本校の生徒の作品も多数掲載されている句集で、この二冊を題材にして文芸活動について、また俳句・短歌に関することなど幅広く交流することができました。最後は参加者全員が俳句を一句ずつ披露しあいました。

参加してくださった一般の皆さんも文芸部の生徒たちの活動に感心してくださり、生徒たちも自分たちの活動を知っていただくことによって誇りが持て、とても楽しかったようです。この企画も今後定期的に行いたいと思っています。

古 飛騨市の誇りの保存・継承活動の強化へ 川祭の起し太鼓・屋台行事を含む『山・鉦・屋台行事』のユネスコ無形文化遺産登録が決定

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の政府間委員会は11月30日(日本時間12月1日未明)、エチオピアの首都アディスアベバで開いた会合で古川祭の起し太鼓・屋台行事など18府県33件の祭りで構成する「山・鉦・屋台行事」を無形文化遺産に登録することが決定されました。能楽や歌舞伎、和食などに続く登録で日本の無形文化遺産は21件になりました。

■山・鉦・屋台行事

「古川祭の起し太鼓・屋台行事」や「高山祭の屋台行事」など18府県の計33団体が国の重要無形民俗文化財に指定されています。政府は平成26年3月に、この33団体をグループ化し、「山・鉦・屋台行事」として「無形文化遺産」に登録申請しました。今回の登録により古川祭は、先人より引き継がれてきた伝統文化としてだけでなく、地域コミュニティを支える根幹として、また多世代の交流から多くを学ぶことができるなど大きな意義をもっています。「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され古川祭の誇る祭礼文化が全国・世界へ発信されることが期待されます。



■ユネスコ無形文化遺産

ユネスコが保護すべき「遺産」として登録したものには幾つかの区分けがあります。

例えば「世界遺産」があります。これは「世界遺産条約」に則って普遍的な価値ありと認定された各地の建造物や遺跡などです。日本の法隆寺のような建物は「文化遺産」です。

これに対して、物としての「形」を取らない芸能(民族音楽・舞踊・劇等)や伝承、社会的慣習、儀礼、伝統工芸、文化等のうち、普遍的価値が認められる遺産が「無形文化遺産」という扱いになります。

■登録決定報告会 12月1日(木) まつり会館

ユネスコ登録を受けて、飛騨古川まつり会館でユネスコ登録決定報告会が開催され、古川祭保存会や気多若宮神社の役員など約40人がくす玉割りや万歳三唱で喜びを分かち合いました。



■登録決定記念イベント 12月3日(土) まつり広場・古川町

飛騨市ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会は、まつり広場で記念イベントを開催しました。

イベントでは、古川祭保存会による神事が執り行われたほか、同実行委員会による記念式典が開催されました。獅子舞や鏡割り、だんごまきなどで、参加した市民ら約800人とともに喜びを分かち合いました。

式典後には、提灯行列が行われ、祭関係者や市民など約400人が各台組の旗や提灯を手に、町内を練り歩きました。



防 緊急時の防災救護の充実へ 災ヘリポートが神岡に完成

12月13日（火） 神岡町

神岡町の旧神岡東小学校グラウンドの南側に神岡町消防防災ヘリポートが完成し、昨年12月1日から運用を開始しました。

このヘリポートは、平成28年度岐阜県南海トラフ等地震対策推進事業補助金を受けて整備を行いました。面積は約1,300平方メートルで、除雪管理し通年使用可能な専用ヘリポートとして飛騨市では2箇所目となります。

平成27年8月からは、富山県のドクターヘリが飛騨地域でも運航するようになり、ドクターヘリ等の地域医療だけでなく、災害時のヘリコプター活動拠点として有効活用を見込んでいます。



現地を視察し挨拶する都竹市長

飛 卒園記念にかるたを制作 騨弁かるたで地元へ愛着を

12月8日（木） 増島保育園

増島保育園の年長園児40人が、方言をテーマにした「飛騨弁かるた」を作りました。

子どものうちから飛騨の良さを知ってもらい、郷土の言葉に親しんでもらおうと、町内のグループ「しゃべりばち☆おとめの会」と同園が3年前から企画しています。

読み札は「きやいた（消した） たきび」「のくとめた（暖めた） 牛乳」など方言がふんだんに盛り込まれています。

園児は見本を見ながら、紙にひらがなを書いたり、下絵に色を塗るなどして仕上げました。作成したかるたは卒園記念として3月に園児にプレゼントされます。



メンバーと交流しながらかるたづくりを行う園児

≡ 木のつくりで地域貢献 ≡ 畳ベンチを2か所に寄贈

12月15日（木） 和光園、21日（水） たんぽぽ苑

飛騨市の建築・まちなみを残す会は先に行われたイベント「もくチャレ！」で制作した畳ベンチを市内の高齢者施設に寄贈しました。

吉城高校の生徒が作成したベンチ2脚は古川町の和光園に寄贈されました。生徒は「みんなで一生懸命作りました。皆さんで大切に使って欲しいです」と話していました。

飛騨神岡高校の生徒が作成したベンチ1脚は神岡町のたんぽぽ苑に寄贈されました。生徒は「全員で思いを込めて作りました。少しずつ完成に近づくのが嬉しかったです」と話していました。



生徒らが制作したベンチに座る利用者

木 飛騨市の木育を広める会と共催 に学び木で遊ぶ

12月11日（日） 総合会館

飛騨市の建築・まちなみを残す会は木材とふれあうイベント「もくチャレ！〜木に学び木で遊ぶ1日〜」を行いました。

会場では、かんなくずでいっぱいにしたプールや丸太切り、コースター作り、木製10メートル巨大シーソーなどたくさんのブースが設けられ、訪れた来場者は様々なブースを体験し、木について学びました。

また、吉城高校と飛騨神岡高校の生徒が飛騨の匠2名の指導の下、ヒノキで座面に畳を使ったベンチ作りに挑戦しました。



丸太切り体験をする来場者



河 飛騨市地域おこし協力隊委嘱状交付式 合町に更なる活力を

12月20日（火） 市長室

飛騨市地域おこし協力隊として地域振興に取り組む戸村元哉さんへ市長から委嘱状が交付されました。市内で活動する協力隊員は戸村さんで4人目となります。

愛知県出身の戸村さんは河合町をメインに活動します。「河合町にある自然、人、伝統的な物などを情報発信していきたい。そして、河合町や飛騨市に人を呼び込みたい」と意気込みを話しました。

都竹市長は「イベントに参加したり、たくさん話をしたりと、どんどん地域に溶け込んで欲しい。また4人いる協力隊同士でも交流を深めて、活動に生かして欲しい」と話していました。



委嘱状を手にする戸村さん（左）と都竹市長

お 飛騨特別支援学校で餅つき交流会 正月の準備できたよ

12月16日（金） 飛騨古城特別支援学校

飛騨古城特別支援学校の児童生徒 27 人は、殿町青龍会と青龍台組青年部 22 人と餅つきや鏡餅、花餅づくりで交流をしました。

この交流会は、地域の一員として子どもたちを応援しようと企画され、今年で4年目。生徒たちは、きねと臼を使って「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて嬉しそうに餅をついたり、鏡餅を作ったりしました。

中屋青龍会会長は「かっこいい鏡餅を作って家に飾り、良い正月を迎えてください」とあいさつし、船渡校長は「子どもたちを暖かく見てくれ、地域でも支えてもらえることは、とてもありがたいです」と話していました。



青龍会会員らとともに餅をつく児童

新 飛騨市ふるかわ元旦マラソン2017 春の古川を駆け抜ける

1月1日（日） ハートピア古川

第46回飛騨市ふるかわ元旦マラソン2017が開かれ、市民や帰省者ら992人のランナーが参加し、ハートピア古川を起点に思い思いの走りを堪能しました。

この日は積雪も無く朝から晴天に恵まれ、最初に受付を行った中井一樹さんファミリーが「元旦マラソンをスタートに、今年一年健康で過ごせるように体力づくりに努め、家族で完走することを誓います。」と選手宣誓を行いました。

家族連れやスポーツ少年団、仮装をして走る人たちなど、参加者は1.7km、2.4km、4.2kmのコースをそれぞれのペースで元気いっぱいに走りました。



元気いっぱいにスタートする参加者

つ 古川西小学校で講話 やばあちゃんの越えた野麦峠

12月19日（月） 古川西小学校

古川西小学校では、地元観光案内人の鮎飛定男さんを講師に招き、飛騨の女工についての講話を聞きました。

この講話は、明治時代の飛騨で働いていた女工の講話を聴くことで、地域の歴史や人々の苦労を学ぶ取組を目的として、同校6年生 47人が参加。鮎飛さんは、女工だった祖母のつやさんからの当時の様子などについて、当時の写真などを紹介しながら、「野麦峠へ行く機会があったら、ぜひ行ってほしい」と話しました。



生徒らに当時の説明をする鮎飛さん



1万円以上の寄付でもらえる
蓬菜純米オールスターズ



2016年国際コンクール18大会にて
50のメダルを獲得した酒蔵です



第8回

(有)渡辺酒造店

TEL 0577-73-3311

このコーナーでは「ふるさと納税（ふるさと応援寄付金）」のお礼の品や店舗を紹介합니다。就職、通学、結婚等で飛騨市外に在住の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

※飛騨市をPRする観点から特産品のお返しは市外に住民票のある方に限らせていただきます

※「楽天ふるさと納税」「ANAのふるさと納税」での寄付受付を開始いたしました

※詳しくはホームページをご確認ください

<http://www.city.hida.gifu.jp/>

飛騨市

検索



9代目蔵元 渡辺 久憲さん(中央)



不老長寿の桃源郷を酒名に戴く蓬菜は1870年より飛騨古川にて名酒造りに専念。国内外の品評会で屈指の入賞歴を誇る。とともに、飛騨人の慶びの一献として永きにわたり愛されてきました。

私たちは追い求めるものは、米のいのちを生かすよう、真つ直ぐに醸す、心や人間の酒造り。伝統と手造りを重視し、古い木の道具を使い、じかに感じる香りや手触りを大切にしていきます。

これからも皆さまに「蓬菜」に出会えて本当に良かった」と心から感動していただける美酒を目指して酒造りに励みます。

人口の動き (1月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
12,112	13,019	25,131	8,889
出生	13	転入	29
死亡	29	転出	36

消防の状況 (12月31日現在)

	火災	救急
飛騨市	6	1058
その他 (管外出動)	0	7
前月比	0	73

交通事故の状況 (12月31日現在)

	人身交通事故 件数	死者	傷者	物損 交通事故
累計	25	0	36	506
昨年	24	2	33	528
増減	1	-2	3	-22

飛騨警察署管内 (平成28年1月1日からの累計)
※人身事故件数、負傷者数、物損事故件数は速報値

R100
食料配合率100%、白米77%
衛生薬を使用しています

VEGETABLE
OIL INK



●発行／平成29年1月18日 飛騨市役所 ●編集／企画部 企画課 ●印刷／有限会社村坂印刷

〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2番22号

☎(0577) 73-2111

🌐 <http://www.city.hida.gifu.jp/>